

[施策名：資材調達のための諸環境の整備]

[担当：労働資材対策室]

資材等の規格・仕様等の標準化、統一化等

○施策の概要

コンクリート二次製品については、地域性が高く、多品種、少量生産の傾向にあるといわれていることから、発注機関毎に異なる製品規格の統一化、既存製品の長尺化、大型化および新製品の技術開発等の検討を実施している。現在、地方建設局等において、23製品の規格・仕様の統一化を図った。

○施策の進捗状況、継続性

統一化された23製品以外にも拡充を図る。

○施策の効果

多品種、小生産から小品種、多生産に移行することにより、生産性の向上が図られ資材価格の低下が見込まれる。

コンクリート2次製品の仕様・規格の統一化

(単位：製品数)

地建名／製品	縁石類	L型街渠	L型擁壁	側溝類	BOX	排水管類	積ブロック類	計	備考
北海道開発局	5							5	H10～
中部地建		1						1	H9～
四国地建			1					1	H10～
九州地建	1		1	5	1	3	5	16	H8～
計	6	1	2	5	1	3	5	23	

*九州地建はメーカーによって仕様の違う製品の価格を統一している。